

平成 14 年 9 月 26 日

総合改革規制会議 資料

アメリカンファミリー生命保険会社

会長 大竹 美喜

医療特区構想について

1. 患者主体の医療構築がわが国医療の課題

- ・わが国の医療体制に不満な患者は高度な医療先進国である欧米等に治療に出かけている。また、研究者の頭脳流出も問題となっている。
- ・医療費の無駄遣いや、上記のような高度医療の遅れを克服することが、医療の課題であり、その克服には「患者主体の医療構築」という視点が極めて重要。
- ・十分な情報の提供の中から患者自身が判断し、最適な医療を選択することが可能な環境を整備すべき。
- ・具体的には、医療に関する情報開示(医師や医療機関の透明性、説明責任の確保など)さらに及び選択肢の多様化(治療法の認可のスピードの遅さの改善など)の実現が必要。

2. 医療特区の創設について

- ・「患者主体の医療構築」を目的として医療特区を設け、所要の措置を講じ、テストしていくことが医療の変革の早期実現につながる。

(内容)

- ・専門的技術と幅広い知見、人間性を持つ医師の育成を図る。
- ・専門医への資格強化。
- ・医療の質の向上を目指した医療制度への「市場原理導入」。
- ・病院等への規制緩和(経営形態の多様化、情報の公開、医師や病院評価の推進)。
- ・専門医の技術評価 = 技術料の一部自由化。
- ・先端医療を提供する医療施設の設置。

(提供するサービス)

欧米では治療実績があり、効果も認められているが、日本では未認可となっている治療法や薬の試用を認める。

(運営)

株式会社の参入を認める。

先端医療技術部分についての混合診療を認める。

日本の医師免許を持たない外国人医師による治療を認める。

第3回日本のヘルスケア改革円卓会議

気運の維持と進行中の改革プログラムへの継続的取り組み

2002年9月19日

プレリミナリー・プログラム

8:30 議長による開会挨拶とスポンサー紹介

議長：エコノミスト・カンファレンセス、ジャパン マネージングディレクター
デビット サターホワイト 博士

8:40 基調講演：規制改革に対する政府の意思表示：日本の現状が必要としているもの。
厚生労働大臣 坂口 力 氏

9:20 プレナリー・セッション：ヘルスケア改革に取り組む場合の礎となる基礎的課題
現在の日本の医療制度にもよい面、正しい点が多々ある。しかし人口構成の変化やグローバルな競争といった困難な問題に直面し改革の道程が見えないのが現状である。本セッションはヘルスケアを取り巻く様々な問題を整理し、医療に関する患者の権利、経済不振が医療制度へ与える影響、規制緩和、医療サービスにおける競合といった重要な課題に絞り込み、これらをクローズアップして一日の討論に道筋をつけるものである。

パネリスト：

厚生労働省 大臣官房審議官（医療保険 医政担当）中村 秀一 氏
東海大学総合医学研究所 所長 東海大学教授 黒川 清 博士
米国先進医療技術工業会 代表取締役理事長 パメラ・G・ベリー氏

10:45 ネットワーキング&コーヒープレイク

11:45 プレナリー・セッション：ヘルスケア改革の過程で忘れてはならない患者の権利、認識と選択

医療製品とサービスの消費者でありかつ究極の受益者と見なされる患者は改革の過程の中で常に中心に置くべき重要な存在である。医療提供の視点から、「中核的研究拠点(Centre of Excellence = COE)」や専門特化など多くの新しく先進的な考え方が求められている。この問題で重要なのは革新的技術開発が提供する付加価値の評価である。また医療の提供と実施における人的要因についてバランスのとれた議論を行うことが必要である。

パネリスト：

自治医科大学名誉教授 国際臨床病理センター所長 河合 忠 博士
高知県高知市病院組合 理事 瀬戸山 元一 博士
日本心臓ペースメーカー友の会 会長 堤 原一 博士

12:45 昼食&講演：日本の構造改革推進に欠かせないヘルスケア改革
基調講演者：社団法人 日本医師会 会長 坪井 栄孝 博士

2:15 プレナリー・セッション : ヘルスケア改革への投資 : 患者と経済に利益をもたらす取り組み

日本の人口構成が急激に変化する中で将来の制度に係わる決定には細心の注意が必要である。患者が最新の医療、薬剤そして予防処置を確実に受けられるようにするためにはこの点に関する患者の意見を反映させることが欠かせない。本セッションでは患者の意見とヘルスケアへの投資による経済の健全化というもう一つの理由を比べながら論じる。

パネリスト :

米国研究製薬工業会 日本代表 アントニー・A・バトラー 氏
学習院大学 経済学部教授 南部 鶴彦 博士

3:45 ネットワーキング&コーヒーブレイク

4:15 基調講演 : ヘルスケア事業の経済的、社会的な影響 : 国際的な展望

基調講演者 : Peter Neumann, Assistant Professor of Policy and Decision Sciences,
Department of Health, Policy and Management, Harvard School of Public Health

5:00 プレナリー・セッション : 将来の方向性に対する選択肢と可能性

一日の討論を通して各参加者はヘルスケアを取り巻く問題について各方面から様々な意見を聞いて認識を新たにする。さらに本セッションでは患者の実体験に耳を傾け考察を行い今後の改革へ向け提言を行う。

パネリスト :

社団法人経済同友会メンバー アメリカンファミリー生命保険会社会長 大竹 美喜 氏
前厚生大臣 衆議院議員 津島 雄二 氏

6:15 閉会の挨拶・円卓会議終了

6:30 カンファレンス・レセプション